



令和7年 2月27日
江戸川区立篠崎小学校
校長 佐藤 美緒
養護教諭

三寒四温で、春の気配が近づいてきました。1月は、学級閉鎖がありましたが、現在は、感染症に罹患している児童は数人です。胃腸炎にかかる児童が度々見受けられますので、ご留意ください。



スポーツ振興センターや治療報告書をお持ちの方はご提出ください

学校でのけがで病院にかかった場合は、窓口で3割負担していただき、スポーツ振興センターの共済の請求をしています。お手元に病院で記入済みの書類がある方は、早急に保健室までご提出ください。今年度の請求はあと2回です。

また、健康診断でお知らせの紙（色がついている）をもらった方は、次年度に持ち越さないよう病院で治療を受け、治療報告書を提出ください。



学校保健委員会が開催されました

2月1日（土）学校公開に合わせて学校保健委員会を開催しました。次年度の新3年生保護者の方向けに、フッ化物洗口の説明をさせていただいたこともあり、たくさんの方にご参加いただきました。お忙しい中、お越しいただき、ありがとうございました。



「乳歯から永久歯へ 健康のバトンタッチ」と題し、歯科校医の宮澤先生から3年生に指導している内容を保護者の方向けにお話ししていただきました。

フッ素入り歯みがき粉や、歯ブラシの当て方など、むし歯予防につながるお話でした。フッ化物洗口が3年生から始まっていますが、歯みがきをした上で効果のあるものです。まずは、歯みがきを

ねいのできるようご家庭でもご指導ください。また、乳歯と永久歯が混在する小学生の歯は、とても磨きにくいです。お家の方に仕上げ磨きをしていただくのがよいとのことでした。

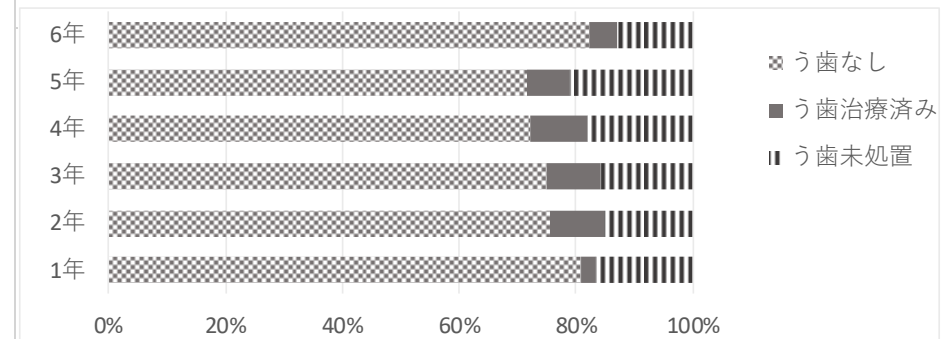
また、体育主任から本校の体力について、養護教諭から本校の健康についてお話をさせていただきました。資料の一部を掲載します。



<歯科>

う歯の状態

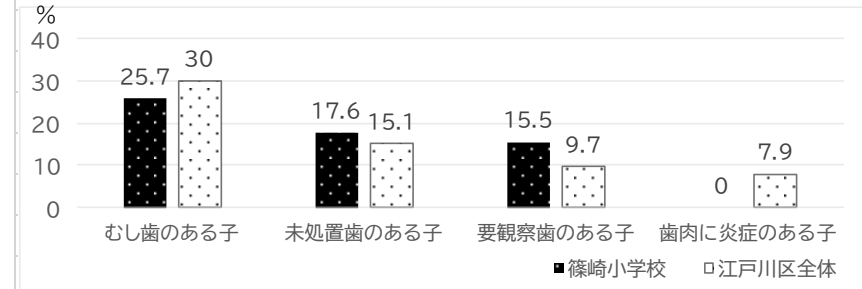
	う歯なし	う歯治療済み	う歯未処置	受診者数	C O要観察歯 保有人数
1年	93	3	19	112	11
2年	89	11	18	107	13
3年	72	9	15	87	9
4年	80	11	20	100	10
5年	68	7	20	88	12
6年	70	4	11	81	20



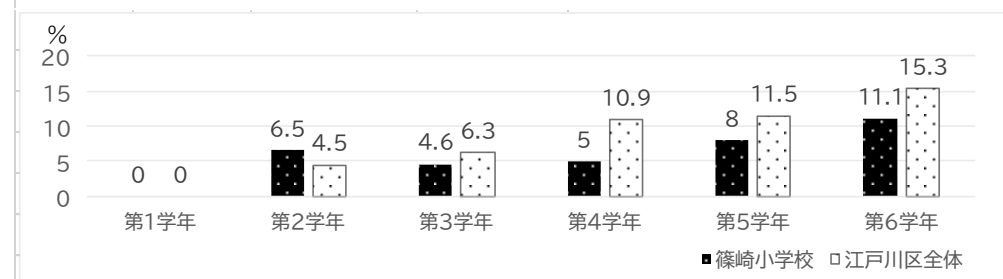
5年生にう歯未処置歯が多い。第7臼歯が生えてくる時期で歯ブラシが奥まで届いていないことが考えられる。同じ理由からか6年生に要観察歯が多い。

* 区立小学校6校データ

グラフ（1） 江戸川区全体との比較



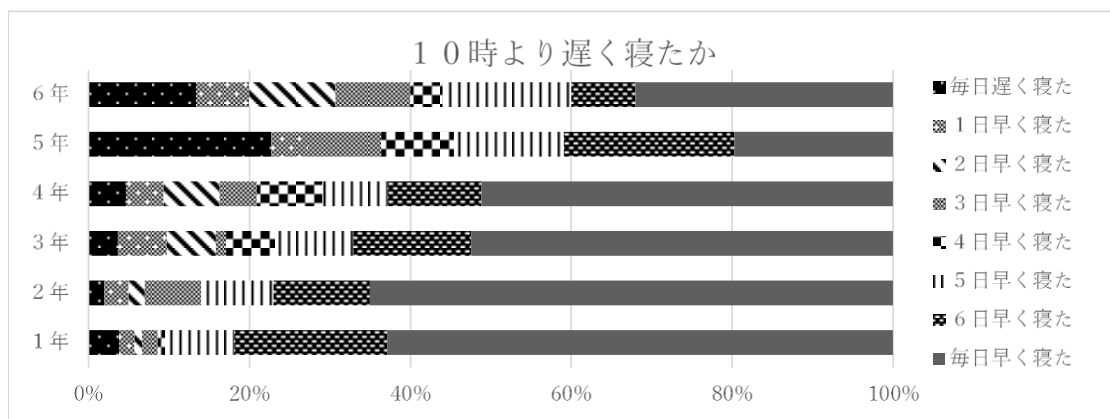
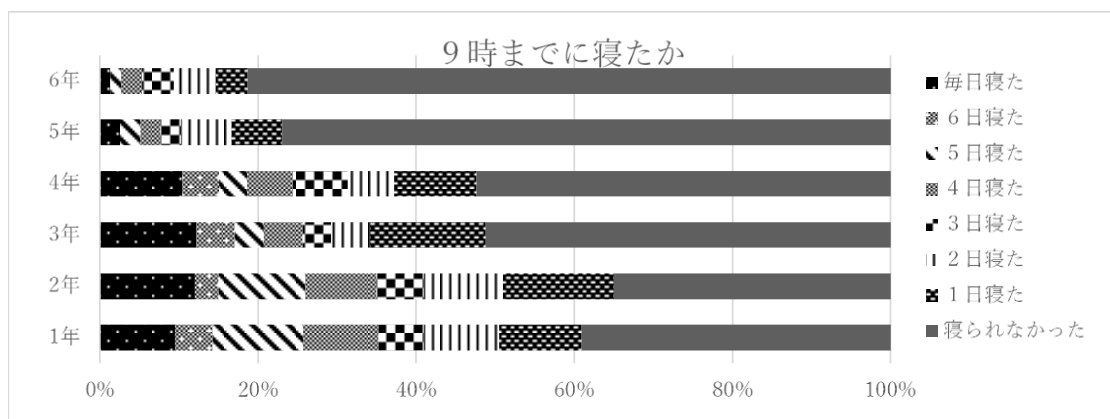
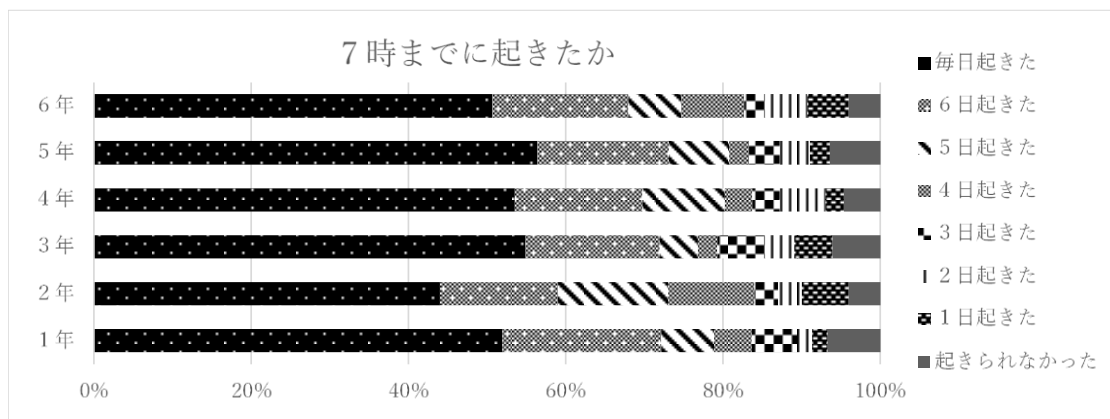
グラフ（2） 永久歯にむし歯のある子の割合



江戸川区と比較して、篠崎小学校は、むし歯のある子、未処置歯のある子、要観察歯C Oのある子が多い。2年生の永久歯にむし歯のある割合が多い。昨年度は全学年江戸川区よりも永久歯にむし歯のある割合が多かったが、今年度は2年生のみ、永久歯のむし歯の割合が多かった。受診率は83.0%。（昨年度は77.7%）

学校保健委員会資料 健康ふりかえりカード

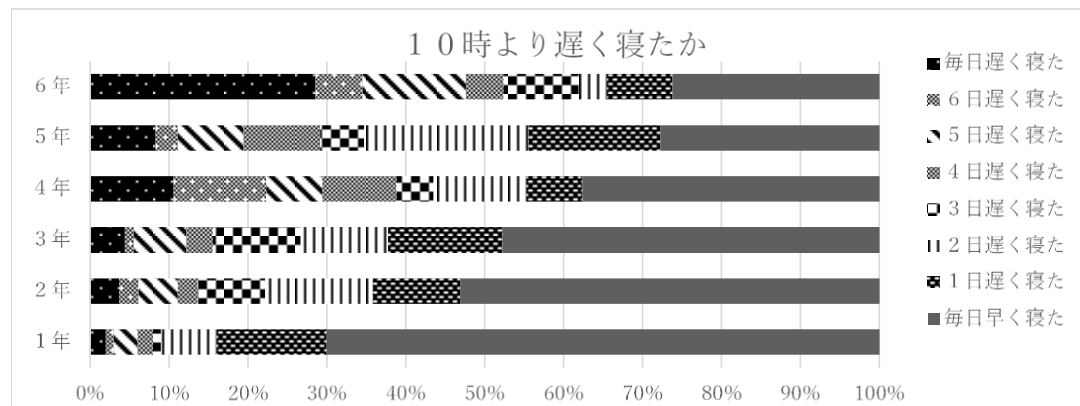
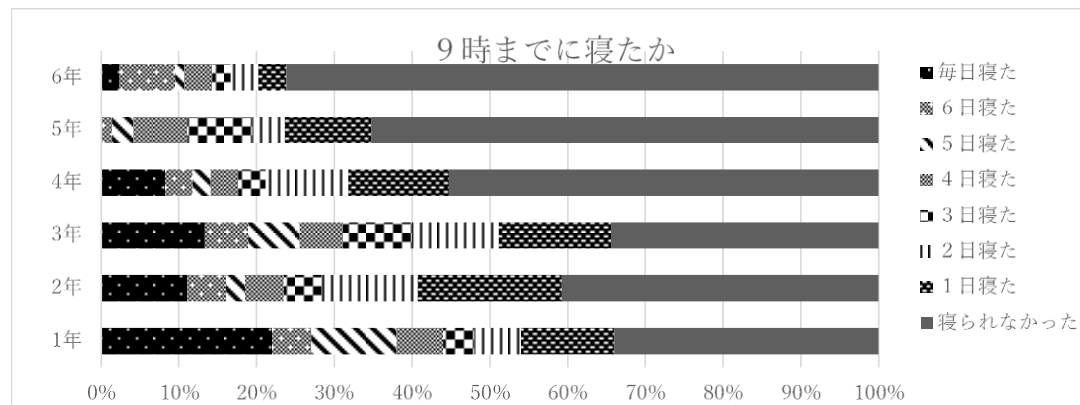
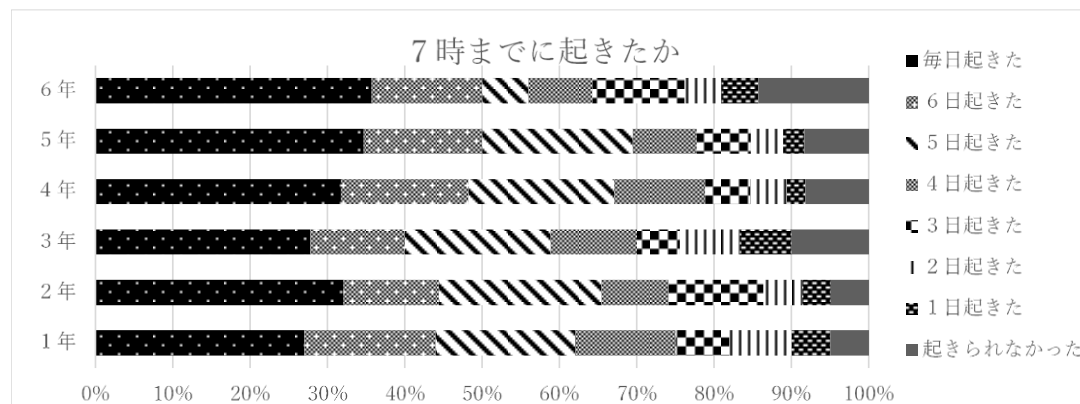
<夏休み明け健康ふりかえりカード就寝起床時刻学年比較>



夏休み明けの起床は、「毎日起きた」がどの学年も50%程度で土日を含めて早く起きる習慣が身についている。昨年度はどの学年も50%に満たなかった。しかし、冬休み明けは、どの学年も「毎日起きた」が40%を切った。

夏休み明けの就寝は、9時までに「毎日寝た」「6日間寝た」「5日間寝た」子が、学年が上がるにつれ少なくなっている。一番多い1、2年生でも40%を切っている。しかし、冬休み明け、6年生と3年生と1年生で9時までに寝た児童が少し増えた。また、2年生以外の学年では9時までに1日も寝られなかった児童が減った。特に3年生が50%ほどから35%ほどに減った。

<冬休み明け健康ふりかえりカード就寝起床時刻学年比較>



10時より「2日遅く寝た」「1日間遅く寝た」「毎日早く寝た」児童は、夏休み明けは、1年生では80%に達し、学年が上がるにつれ、少なくなっている。冬休み明けは、10時より「毎日早く寝た」児童が5年生では20%から28%、1年生では63%が70%に増えた。逆に、4年生では52%から38%に、2年生では65%から32%に減った。

以上のことから、毎日9時までに寝ることが難しい児童が多いが、「健康振り返りカード」の保護者コメント欄に「予定のない日は早く寝ることができた」と記載が見受けられ、なるべく早く就寝できるよう努めている事が伺える。しかし、「子ども睡眠健診プロジェクト」の南先生から、平日と土日の睡眠時間の差も少なくするとよいとご指導いただいていることもあり、毎日9時までに就寝できることを目指したい。ご家庭の都合や習い事等あるかと思うが、子供たちの健やかな成長のために、睡眠時間の確保を意識していただきたい。